

いきいきサロン

皆さんからの投稿でつくる、皆さんのページです

投稿募集中

お便り

終戦時の父と母の言葉忘れぬ

仙台市泉区 小磯清光(7)

43年間寝たきりの父が旅立ち13年の月日が流れた。石巻市で町内奉仕労働運動など無理な活動に身を粉にしてさげた一生であった。

亡くなる直前、枕元に私を呼んで「あの世に行ったら一番先に、お前の妹と弟におわびをした」と涙ながらに語る父の言葉が忘れられない。

72年前の終戦時、満蒙開拓団から引き揚げて来る途中、戦地で3歳の弟、2歳の妹を栄養失調で亡くし地獄の日々、語ることもできない逃亡生活でやっと石巻に帰ることができた。

悲しみを胸にして帰ると、母が突然私を置いて行方不明となった。私は母を捜し続け30年ぶりに再会。その時の母の手紙は今も握り締め、肌身離さず持ち続けている。

母は手紙の中で「戦争は決して起こしてはいけない。戦争は悲劇しか生まない。今も幼くして亡くなった清光の妹、弟におつばいをいっばい飲ませたいと思う気持ちはいつまでも変わりません」と。

高齢者や障害児の施設での芸能、傾聴ボランティアを仲間と始めて53年目、一昨年から県内各地で、友人が製作した満蒙開拓団の落日「望郷の鐘」の上映を行っている。

東日本大震災の被災地、東松島で行った際、観賞された90代の女性が「上映してくれてありがとう。引き揚げた友人の母は今も行方が分からない」との言葉を残しつつ帰る手のぬくもりが、いつまでも私の心から消えない。

懸命の稽古で覚えた盆踊りもう一度

仙台市泉区 星宮守(84)

生まれ育った岩手の片田舎の奥州市の祭りには、忘れ難い思い出があります。地域にある五十

瀬(いそせ)神社の夏祭りでは、神楽が奉納されました。

当時は青年団が主催していましたが、その青年団から神楽に盆踊りを加えて祭りを盛り上げようとの声が上がりに、練習することになりました。

それが大人だけでなく、子どもも参加することになってしまいました。私は当時小学5年で、帰宅後に村の集会所に集められ、踊りの稽古をしました。なかなか上達が遅かったことが今でも思い出され、ぞっとします。

クラスの友達30人と一緒に踊りました。私はどうも手と足が思うように動かず、先生から「覚えの悪い子だわ」と言われ、再三再四、手取り足取りの指導を受け、祭り当日は何とか皆さんと踊ることができたのが今となっては懐かしい思い出です。

今も盆踊りは続いているので、一緒に練習した仲間と昔を思い出してみたいものです。

宮城いきいき学園 2018年4月 入学生募集

- 対象 象/県内在住のおおむね60歳以上の方
- 場所 /①仙南校②大崎校③石巻校④気仙沼・本吉校⑤登米・栗原校
- 募集人員 /各校40人
- 学習日 /年間22日(2学年制)
- 内容 /生きがいと健康づくりを目指し、地域活動の指導者として必要な内容を身に付けます
- 募集期間 /12月1日(金)から予定
※申し込み手続きの詳細については、本会ホームページや12月13日(水)発行の「いきいきライフみやぎ冬号」などでお知らせします
- 入学金 /5千円(予定)
- 受講料 /年間2万円(予定)
- 申込書 /各市町村の福祉担当課、生涯学習担当課、社会福祉協議会、および本会ホームページからも入手できます
※通学可能であれば、どの学校に申し込んでも結構です
- ホームページ /<http://www.miyagi-sfk.net/>

申し込み・問い合わせ

宮城県社会福祉協議会 いきがい健康課(学園担当)

TEL022-225-8477

第25回 宮城シニア美術展

- 期間 /11月30日(木)~12月3日(日)
10:00~16:30
(3日は15:00まで)
- 会場 /宮城県美術館 県民ギャラリー
(仙台市青葉区川内元支倉34-1)
- 展示作品 /県内在住の60歳以上のアマチュアの方による創作作品(日本画・洋画・書・写真・工芸)を展示
- 入場料 /無料
- その他 /10月31日(火)まで作品を募集しています
- ホームページ /<http://www.miyagi-sfk.net/>

問い合わせ

宮城県社会福祉協議会 いきがい健康課

TEL022-223-1171



やくらいガーデン(加美町)
仙台市泉区 菊地明(72)



ダリア(山形県川西町)
仙台市若林区 後藤靖子(76)



栗原市 平澤敬司(76)



登米市 千葉郁子(63)